

事業報告書

令和 7（2025）年度

（第十三期）

自 2025（令和 7）年 4 月 1 日

至 2026（令和 8）年 3 月 31 日

公益社団法人国際演劇協会日本センター

(1) 法人の概況

【公益社団法人国際演劇協会日本センター】

[定時社員総会]

令和7年6月14日（土）10:02～11:45 Zoomによるオンライン会議

- ・令和6（2024）年度（第12期）計算書類の承認
 - 貸借対照表の承認
 - 損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
 - 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書の承認
- ・役員の選任について
- ・令和6（2024）年度（第12期）事業報告
- ・令和7年度事業計画について
- ・会員異動 その他

[理事会]

第一回通常理事会 令和7年5月24日（土） Zoomによるオンライン会議

【審議事項】

- ・令和6年度（第12期）事業報告書及び決算報告書について
- ・役員（理事・監事）などの選任について／令和7年度理事候補者選挙 開票結果報告

- ・令和7年度 定時社員総会の招集

・令和7年度定時社員総会開催ならびに書面による議決権の代理行使および電磁的方法による議決権の代理行使について

【協議事項】

- ・2023年 JKA 補助事業『この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ』2回目の自己評価

【報告事項】

- ・令和7年度事業計画及び収支予算（3月理事会承認）の進行状況報告
- ・会員異動
- ・代表理事・業務執行理事の職務状況の報告

【意見交換】

- ・「紛争地域から生まれた演劇」継続・発展について
- ・日本原水爆被害者団体協議会「被爆・戦後80年企画～核兵器も戦争もない世界を求めて～記憶を受け継ぎ未来へ～」参加に向けての意見交換

第一回臨時理事会 令和7年6月14日 zoomによるオンライン開催

【審議事項】 令和6年度（第12期）決算報告書の修正について

第二回臨時理事会 令和7（2025）年6月14日（土）zoomによるオンライン開催

【審議事項】

- ・役員の選出について／代表理事（3名以内）業務執行理事（1～2名）

- ・令和7年度事業委員会委員の選任について

第二回通常理事会 令和7年10月18日（土） Zoomによるオンライン会議

【報告事項】

- ・今年度事業中間報告
基礎資料収集事業『国際演劇年鑑』（日本編・海外編）の編集と発行
ワールド・シアター・ラボ
- ・「被爆・戦後80年企画～核兵器も戦争もない世界を求めて～記憶を受け継ぎ未来へ～」への参加について
- ・2026 International Dance Day メッセージオーサーの推薦について
- ・英語圏部会、翻訳戯曲部会活動報告
- ・会員異動報告
- ・代表理事・業務執行理事の職務状況の報告
- ・その他

【審議事項】

- ・公益社団法人日本演劇興行協会より、「国際演劇協会日本センター 復刻資料集 1951～1961」への発行協力について
- ・令和8年度「劇場・音楽堂等と芸術団体との連携による地域活動基盤形成支援事業」等への申請準備について（要項未発表）
- ・令和8年度「文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」への申請準備について
- ・令和8年度「文化芸術振興費補助金 舞台芸術等総合支援事業（芸術家等人材育成）」申請準備について

【その他】

- ・令和8年度以降の事業について
- ・「国際演劇協会日本センター 復刻資料集 1951～1961」活用方法について
- ・「紛争地域から生まれた演劇」今後について
- ・その他

第三回通常理事会 令和8年3月22日（土） 千駄ヶ谷社会教育館 2F 学習室（中）

【報告事項】

- ・令和7（2025）年度事業報告【概要】
- ・令和7（2025）年度事業の実施に関する報告
基礎資料収集事業『国際演劇年鑑 2026』編集発行
「ワールド・シアター・ラボ 2025」
- ・ITI アジア太平洋地域会議 報告
- ・会員異動報告
- ・代表理事・業務執行理事の職務状況の報告
- ・令和7年度寄附金報告

【審議事項】

- ・令和8（2026）年度事業計画【概要】
- ・令和8（2026）年度 事業計画案

独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業 令和 8 年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料
収集事業／事業名：「日本と海外の舞台芸術交流」に関する調査・分析・公開事業

令和 8 年度 文化芸術振興費補助金 舞台芸術等総合支援事業 芸術家等人材育成／「次代の翻訳
者育成セミナー」（「ワールド・シアター・ラボ」）

- ・令和 8（2026）年度 正味財産増減予算書
- ・謝金等単価の改訂について
- ・「国家情報会議」および「国家情報局」設置に関する国際演劇評論家協会日本センター声明（案）につ
いて

【その他】

- ・ITI ニュース No. 137 の発行について

[会員状況]

（正会員） 令和 7 年 4 月 1 日時点・・・210 名（個人会員 209 名 団体会員 1 団体）
令和 8 年 3 月 31 日時点・・・198 名（個人会員 197 名 団体会員 1 団体）

（R7 年度会員異動） 入会・・・0 名
退会・・・8 名
ご逝去・・・4 名

（賛助会員） 令和 7 年 3 月 31 日時点・・・ 27 社
令和 8 年 3 月 31 日時点・・・ 26 社

（R7 年度 賛助会員異動） 入会・・・該当なし
退会・・・1 社

（２）令和 7 年度 文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業

『国際演劇年鑑』の編集・発行

『国際演劇年鑑 2026』は、昨年度より紙版から PDF 版へ形態の変化に伴い、ページデザインを一新、
オンライン公開での利点を生かし、掲載されている作品、劇場、劇団などに、ウェブサイトのリン
クをはり、すぐに該当ページの閲覧を可能とするなど、資料価値を高めるよう努めた。

海外公演調査については、調査結果をまとめたデータを ITI 日本センターホームページに掲載し、
広く閲覧できるよう公開した。

- ・日本語版『国際演劇年鑑 2026』（PDF・264 ページ）

https://iti-japan.or.jp/wp-content/uploads/2026/03/iti-japan_theatreyearbook2026_jp.pdf

- ・英語版『国際演劇年鑑 2026』（PDF・88 ページ）

https://iti-japan.or.jp/wp-content/uploads/2026/03/iti-japan_theatreyearbook2026_en.pdf

- ・日本の舞台芸術の海外公演調査（PDF・29 ページ）

<https://iti-japan.or.jp/research/>



日本語版



英語版



海外調査

●「国際演劇年鑑 2026」目次一覧

●ワールド・シアター・デイ メッセージ

ウィレム・デフォー（俳優、シアター・メイカー／アメリカ）

●世界の舞台芸術を知る 2024/25

《アジア・アフリカ》

〈中国〉歴史の新段階か／奚 牧涼（シー・ムーリャン）

〈韓国〉古典と現実のはざままで／李 星坤（イ・ソンゴン）

《南北アメリカ》

〈アメリカ（ストレートプレイ）〉舞台芸術と政治／外岡 尚美

《ヨーロッパ》

〈イギリス〉ポストヒューマンの時代における個人主義の終焉と存在の複数性をめぐって／
本橋 哲也

〈ドイツ〉閉塞からの脱却のために演劇は何ができるのか？／三輪 玲子 ベルリン州文化予算削減
／庭山由佳

〈フランス〉終わらぬ危機、見えぬ展望／藤井 慎太郎

〈オランダ〉舞台を「取り戻す」／ロベルト・ファン・フーフエン

〈ロシア〉誰の声に耳を傾けるのか／篠崎 直也

●日本の舞台芸術を知る 2025

〈能・狂言〉古典芸能の批評性／村上湛

〈歌舞伎〉八代目尾上菊五郎襲名と三大名作の上演／矢内 賢二

〈文楽〉『大阪・関西万博』開催と、二つの通しに中堅世代の奮闘／亀岡 典子

〈ミュージカル〉オリジナル作品の充実と進化／中村 正子

〈現代演劇〉戦後 80 年、私たちの「現在地」を探って／山口 宏子

〈児童青少年演劇〉持続可能な児童青少年演劇を目指して／太田 昭

〈日本舞踊〉充実の古典伝承と新作に新しい可能性を示す／平野 英俊

〈バレエ〉厳しい環境のもと、わずかだが変化の兆しが／うらわ まこと

〈コンテンポラリーダンス・舞踏〉人類の“身振り”とノンヒューマンなダンス／堤 広志

〈テレビドラマ〉変化する社会、新たな価値観や技術が生まれてくるなかでテレビドラマはどこへ

行く／木俣 冬

●日本の舞台芸術の海外公演調査 2025

〈調査・分析〉

2025年の海外公演調査から見えてきたこと／吉本 光宏

4人のプロデューサーに聞く 海外進出する舞台芸術の現在地

舞台芸術のための世界組織の役割と日本の伝統芸術および現代舞台芸術の重要性／トビアス・ビアンコーネ

【編集長】新野 守広

【発行者】公益社団法人 国際演劇協会日本センター

文化庁文化芸術振興費補助金

独立行政法人日本芸術文化振興会 委託事業

令和7年度 文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業

（3）「次代の翻訳者育成セミナー」（「ワールド・シアター・ラボ」）

【本事業で目指すこと】

本事業は、国際演劇協会（International Theatre Institute, ITI）日本センターの目的にある「各国相互の理解を深め、広く演劇舞踊の創造と交流を促進すること」の土台となる、世界各国の演劇と日本の演劇を繋げる重要な役割の一つである「戯曲翻訳」の人材育成を目的に、実施するものである。

特に、次代の戯曲翻訳分野を牽引する翻訳家を育成することを目的とし、あわせて、演出家、俳優等実演家、制作者が現代の海外戯曲と出会い、理解の深化の場を創出することで、演劇に関わる者に翻訳戯曲が身近になるとともに、当該分野の普及と底上げを目指す。

そして、当センターの、世界各国の演劇・舞踊の専門家が組織する各国のネットワークや演劇・舞踊の国際交流に関わる情報収集・発信というリソースを活かし、現代の劇作家の作品を軸に差別問題、移民問題、ジェンダーなど世界的な課題にフォーカスした作品を積極的に選び、演劇分野における日本の新進芸術家の、世界に対する視野の広がりを促す。

【本事業のねらい】

様々な国や背景の作家との出会いや多様性を持った作品を通じて、世界的視点に立った広い視野と見識・知識を持った翻訳家を育成するためには、研鑽・研修・評価といった循環的な育成環境と、演出家・俳優・制作者等との相互触発される場を、継続的に創出する事が不可欠である。

そこで、本事業は、育成対象者の、育成段階を複数に分けて実施する。演出家・俳優等実演家等とともに取り組む「リーディング上演」では、観客の前で上演されることを目的に翻訳をブラッシュアップし、舞台における言語感覚を身に付けることを目標とする。「戯曲読解ワークショップ」では、翻訳家と翻訳家志望の方、演出家・俳優等の中から、戯曲翻訳に興味・関心のある者の発掘と研修（10名程度）を目標とする。「戯曲翻訳」の経験が少ない者を対象に実施する「戯曲翻訳ゼミナール」を通して、戯曲翻訳の経験者を増やす（6名程度）

そして、参加した育成対象者の中から、複数年度にわたって参加する翻訳家を発掘し、当該分野を牽

引する人材の輩出を目標とする。令和２年度より実施する本事業の「リーディング上演」では、今年度（R7）までに10名の新進翻訳家が参加している。

【本事業の波及効果】

本事業を通してのネットワークや、リーディング上演時の戯曲頒布により、本事業以外の上演の機会を創出し、育成対象者の活躍の場が拡張しうると考えている。本事業に参加後、各劇場で上演される作品の翻訳者として活躍している者や、日本初訳作品を選定して翻訳する本事業において、候補作品提案などを行う若手人材も育っている。

令和２年度に本事業で翻訳・リーディング上演した『自殺の解剖』（作：アリス・バーチ（イギリス）、翻訳：關智子、演出：生田みゆき）は、令和５年度に文学座アトリエ公演にてフルプロダクションで上演され、翻訳の關智子氏はこの翻訳で「第16回小田島雄志・翻訳戯曲賞」を受賞している。

1. 戯曲読解ワークショップ

実施日：令和７年10月7日（火）～令和７年10月10日（金）

実施場所：オンライン

育成者数：7名

受講料：3,000円

作品：『イングリッシュ』（英語）ENGLISH by Sanaz Toossi

翻訳：小林春世（育成対象者）

ファシリテーター：大澤遊

2. 戯曲翻訳ゼミナール

実施日：令和７年8月17日～11月23日

実施場所：オンライン、渋谷区地域交流センター

育成者数：6名

受講料：3,000円

作品：『Mary（メアリー）』作：Rona Munro（スコットランド）

戯曲の言語：英語

監修・進行：谷岡健彦

3. リーディング上演

実施日：令和８年1月31日（土） 2月1日（日）

実施場所：上野ストアハウス

育成者数：1名

入場者数：232名

チケット料：一般 2,500円 U25 1,500円

作品：『囚われの本質』（アメリカ）

作：マシュー・ポール・オルモス 翻訳：渡邊奈津希 演出：生田みゆき

出演：根本大介、長尾純子、原田理央、石井瞭一／山野靖博、翠月瞳、赤松怜音、小比類巻諒介

1月31日（土）13:00／18:00 2月1日（日）13:00

作品概要：暴力と抑圧の連鎖の中で揺れる人間の尊厳と自由への希求を描く。極限状況下で露わになる心の闇と希望を問い直す戯曲。

4. 翻訳者育成プログラム

実施日：(研修) 令和7年9月1日～12月4日 (試読会) 令和7年11月12日

実施場所：オンライン、渋谷区地域交流センター恵比寿

育成者数：1名 (応募者数7名、二次選考で1名選出)

受講料：無料

監修者：新野守弘

作品：『Nachtland』(ドイツ/2022年) 作：Marius von Mayenburg

※使用言語：ドイツ語

企画立案・プロデュース：林英樹／ディレクター：柏木俊彦、櫻井拓見／制作：村上理恵／制作助手：田中美紗樹

著作権代理：株式会社シアターライツ／制作協力：万里紗

舞台監督：廣瀬正仁／照明：長尾裕介 (LEPUS)／音響：斎藤裕喜 (Québec)／音響操作：河相朱音 (Québec)

「次代の翻訳者育成セミナー」(「ワールド・シアター・ラボ」)

主催：公益社団法人国際演劇協会日本センター

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(芸術家等人材育成)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

協力：(一社) 日本演出者協会、(一社) 日本劇作家協会、国際演劇評論家協会 [AICT] 日本センター

(4) 「国際演劇協会日本センター 復刻資料集 1951～1961」の発行

ITI日本センターでは、発足当時の資料(会員向けのニュースレターである「ITI通信」など)の一部が事務所にそのまま保管されていた。そこで、現事務局では、それらの記事を元に、日本センターの設立に至る経緯、設立当初の日本の舞台芸術のあり方と世界との関わり方、日本と海外の演劇・舞踊関係者との交流に当センターが果たしてきた役割等について、当時の資料を基に点検・再読を試みた。結果としては、残された資料の時代ごとの精粗の差があり、設立以来の全期間について十分な情報を得られたわけではなかったが、ある程度資料がまとまって残されており、時代の状況を推測することが可能な草創期の10年余(1951-1961)について、「復刻資料集」をまとめて刊行し、後世に伝えたいと考えた。

発行部数：500部

発行協力：公益社団法人日本演劇興行協会

(5) 後援

・公益社団法人 日本バレエ協会

「令和7年度 全日本バレエ・コンクール」

期 間： 2025年8月11日（月）～14日（木）

会 場： パルテノン多摩

主 催： 公益社団法人日本バレエ協会

助 成： 文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（芸術家等人材育成））

独立行政法人日本芸術文化振興会

制作団体： 公益社団法人日本バレエ協会

・特定非営利活動法人シアタープランニングネットワーク

「舞台芸術とケア」アートマネジメントスクール

第1回 「インティマシーディレクターの仕事」（対面・オンライン同時双方向・配信）

日時 2025年8月6日（水）

会場 シャロームみなみ風コミュニティスペース（新宿区弁天町）

講師 黒田はるか（俳優・殺陣師・インティマシーディレクター／在英国）

第2回 「ダイバーシティの時代の演劇創造」（対面・オンライン同時双方向・配信）

日時 2025年8月14日（木）14:00～17:00 セミナー

会場 パルテノン多摩4F クリエイティブラボ（多摩市落合）

講師 エイミー・リーチ（演出家・リーズプレイハウス副芸術監督）

第3回 「リラックスパフォーマンスからディメンシアフレンドリーへ」（オンライン同時双方向・配信）

日時 2025年8月27日（水）

講師 ニッキー・テイラー（リーズプレイハウス&グローバルブレインヘルス研究所教授）

（6）広報事業

◆ITI ニュース No. 137 web 版を発行

◆ITI ウェブサイト、Facebook、Twitter を随時活用

◆海外公演調査データ、「国際演劇年鑑」(Theatre Yearbook) の最新号およびバックナンバーを ITI のホームページで公開中。

（7）その他

・「国際演劇協会 アジア太平洋地域協議会会議 Asia-Pacific Regional Council Meeting」

期間：2025年11月20日～11月22日

開催地：ベトナム ニンビン

ITI 日本センターより三輪えり花理事が参加。

・ITI 本部のテーマ別委員会である「紛争地域の演劇」(TCZN, Theatre in the Conflict Zones) 委員会のネットワークミーティングが2026年2月12日（木）に開催され（オンライン）、

中山夏織理事が出席。

- ・第7回SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞に応募、不採択。
- ・2025年度国 際交流基金地球市民賞に応募、不採択。
- ・文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業

クリエイター等育成プロジェクト支援（【第Ⅰ期】令和6年度～令和8年度）に応募、不採択。

- ・令和8年度日本芸術文化振興会 劇場・音楽堂等と芸術団体との連携による地域活動基盤形成支援事業への申請見送り

[事業報告の附属明細書]

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

【参考】

令和8年度文化芸術振興補助金
劇場・音楽堂等と芸術団体との連携による地域活動基盤形成支援事業
審査結果

応募件数	採択件数	助成金交付 予定額（千円）
110	55	939,786

劇場・音楽堂等と芸術団体との連携による地域活動基盤形成支援事業

(合計55件・939,786千円)

助成対象活動名	団体名	拠点となる道府県	助成金交付予定額 (単位：千円)
ニットギャップシアターの北海道における活動基盤形成事業	一般社団法人 毛帽子事務所	北海道	3,767
東京バレエ団《はじめてのバレエ 白鳥の湖》	公益財団法人 日本舞台芸術振興会	北海道	26,217
岩手・盛岡系あやつり人形活動基盤形成推進事業	特定非営利活動法人 いわてアートサポートセンター	岩手県	18,387
地域合唱活動振興事業 in 一関	一般財団法人 合唱音楽振興会 (東京混声合唱団)	岩手県	2,982
仙台フィルによる釜石地域「クラシック音楽活動」再定着事業	公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団	岩手県	7,997
Nexus Project (仮)	一般社団法人 緊急事態舞台芸術ネットワーク (JPASN)	宮城県、大阪府、福岡県	79,880
文化芸術による秋田活性化プロジェクトⅠ	一般社団法人 パフォーミングアーツ・ラボラトリー	秋田県	19,059
文化芸術による秋田活性化プロジェクトⅡ	一般社団法人 パフォーミングアーツ・ラボラトリー	秋田県	10,615
山形交響楽団 秋田県南地域(横手・湯沢)広域連携事業	公益社団法人 山形交響楽協会	秋田県	26,582
地域におけるリラックスパフォーマンス実施体制構築事業	公益財団法人 スターダンスーズ・バレエ団	山形県	30,870
山形を東北のオペラコンテンツの拠点に ～3年間の取り組みとその先の展望	公益財団法人 東京二期会	山形県	39,193
共創する吹奏楽文化都市プロジェクト	一般社団法人 東京佼成ウインドオーケストラ	茨城県	3,602
北関東「吹奏楽のまち・小山」共創プロジェクト	一般社団法人 東京佼成ウインドオーケストラ	栃木県	6,968
おやまバレエ文化創造プロジェクト	公益財団法人 東京シティ・バレエ団	栃木県	3,519
「共創による特色豊かな本物のバレエ創造」を育むステップアッププラン～ここにしかない、本物のバレエ～	一般財団法人 牧阿佐美バレエ団	群馬県	22,813
現代バレエでひらく 地域文化育成プロジェクト	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団	埼玉県	1,988
基盤形成事業バレエ公演「眠れる森の美女」全幕	一般財団法人 谷桃子バレエ団	千葉県	40
青葉の森公園芸術文化ホール能楽普及事業	公益財団法人 千葉県文化振興財団	千葉県	4,747
フラメンコ/スペイン舞踊・音楽による県域文化基盤形成事業 ― 千葉における創造・育成・国際連携の循環モデル構築 ―	一般社団法人 日本フラメンコ協会	千葉県	24,496
濱田芳通&アントネッロ モーツァルトのオペラ「ダ・ポンテ三部作」による神奈川県域における文化芸術振興事業	公益財団法人 神奈川県芸術文化財団	神奈川県	19,315
地域とともに育むオーケストラ文化創造事業	公益財団法人 東京交響楽団	神奈川県	6,618
横須賀芸術劇場を中心とした東京二期会、NBS/東京バレエ団との連携によるオペラ・バレエ活動の基盤形成事業	公益財団法人 横須賀芸術文化財団	神奈川県	24,031
オーケストラ・アンサンブル金沢 地域活動基盤形成支援事業	公益財団法人 石川県音楽文化振興事業団オーケストラ・アンサンブル金沢	新潟県、福井県	27,652
東海広域創造ネットワーク形成事業 ― 文学座・新日本フィルとの滞在制作と巡回による地域基盤構築 ―	公益財団法人 可児市文化芸術振興財団	岐阜県、愛知県、三重県	20,022
芸協らくご ぎふ	公益社団法人 落語芸術協会	岐阜県	2,120
静岡市民文化会館×コンドルズ ラウドヒル計画2026-2028 (仮)	ROCKSTAR 有限会社	静岡県	12,976
地域におけるリラックスパフォーマンス実施体制構築事業	公益財団法人 スターダンスーズ・バレエ団	愛知県	24,494
人形劇による中部地域(愛知・飯田)地域活動基盤形成事業	一般社団法人 ブーク人形劇場	愛知県、長野県	8,928

助成対象活動名	団体名	拠点となる道府県	助成金交付予定額 (単位：千円)
地域のクラシック人口1%を目指そうプロジェクト	公益財団法人 伊賀市文化都市協会	三重県	22,448
よっかいち演劇カルティベートプロジェクト	mogamos 合同会社	三重県	10,657
“ひらく・つなぐ・はぐくむ” 音楽文化 ―オーケストラを起点とした、地域循環型の次世代育成プロジェクト―	公益財団法人 びわ湖芸術文化財団 滋賀県立文化産業交流会館	滋賀県	33,037
上質なコンテンツで歩む3年間から、関西で唯一無二のオペラの拠点作りを目指して	公益財団法人 東京二期会	大阪府	40,807
DANCE BOX セレクション・シリーズ2026-2028	特定非営利活動法人 ダンスボックス	兵庫県	12,036
「とっとり ひと・まち元気！ライブ・アート・プロジェクト2026-2028」	公益財団法人 鳥取県文化振興財団	鳥取県	6,580
焼光群連携プログラム	公益財団法人 岡山文化芸術創造	岡山県	5,812
新日本フィル「みんなで楽しむオーケストラ！誰でもコンサート」	公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団	広島県	18,890
「古典芸能の聖地・長門」再生プロジェクト～日本舞踊とルネッサながとによる地域文化拠点形成～	公益財団法人 長門市文化振興財団	山口県	17,986
「古典芸能の聖地・長門」再生プロジェクト～近松『国性爺合戦』と楊貴妃伝説による地域芸術活動基盤形成計画～	公益財団法人 長門市文化振興財団	山口県	15,840
山口県東部圏域の芸術創造拠点化推進事業	公益財団法人 日本センチュリー交響楽団	山口県	12,425
「下松×読響」による地域活動基盤形成支援事業	公益財団法人 読売日本交響楽団	山口県	14,954
四国でオーケストラ文化を盛り上げるプロジェクト！	公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団（京都市交響楽団）	徳島県	9,674
藍の交易から音楽の交流へ ～ 文化による藍住町の還流創出プロジェクト～	一般社団法人 日本テレマン協会	徳島県	6,182
高松市を拠点とした雅楽の活動基盤形成事業	一般社団法人 雅楽協会	香川県	20,971
四国でオーケストラ文化を盛り上げるプロジェクト！	公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団（京都市交響楽団）	香川県	9,221
演劇でつながるまち	公益社団法人 日本劇団協議会	高知県	15,664
土佐の「こじゃんと」能楽プロジェクト	公益社団法人 能楽協会	高知県	20,865
日本フィル×大牟田文化会館 音楽文化基盤形成プロジェクト ―子ども育成を核とした地域音楽基盤形成モデル―	公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団	福岡県	10,551
西本智実芸術監督×法村友井バレエ団 総合芸術舞台シリーズ in 福岡市民ホール	一般社団法人 法村友井バレエ団	福岡県	56,298
福岡県域舞台芸術循環型基盤・拠点形成事業	ももち文化センターパートナーズ（代表企業：特定非営利活動法人アートマネジメントセンター福岡）	福岡県	35,222
子供と大人の舞台芸術参加機会拡充を目指す人形劇活動(長崎県)	有限会社 ひとみ座	長崎県	3,919
くまもと能楽街道	公益社団法人 能楽協会	熊本県	30,492
子供と大人の舞台芸術参加機会拡充を目指す人形劇活動(九州南部)	有限会社 ひとみ座	大分県	3,446
糸あやつり人形と日本神話による地域文化基盤形成事業	一般社団法人 一糸座	宮崎県	10,634
日本フィル×鹿児島県文化ホール 音楽文化基盤形成プロジェクト ―若年層クラシック演奏文化の育成事業―	公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団	鹿児島県	8,796
バレエがつなぐ拠点の形成「3つのWin」	一般財団法人 NBAバレエ団	沖縄県	6,501